

MA-T 学会 第 2 回年会 2024  
「地球の健康 ～well-being を考える～」

特別企画  
公開シンポジウム

「みんなで考える地球の健康と私たちの well-being」

2024 年 11 月 30 日（土）13:00-17:30

大阪大学コンベンションセンター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

<https://facility.icho.osaka-u.ac.jp/convention/map.html>

会場とオンラインの Hybrid

後援：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、バイオコミュニティ関西

参加無料

参加申込

<https://form.run/@pkrr--Snpyfea18FFubdJuyJ8b>



13:00

ご挨拶 -趣旨を語る- 星野 俊也



大阪大学大学院国際公共政策研究科  
ESG インテグレーション研究教育センター共同代表  
国連システム査察団（JIU）監査官（元国連大使）

「プラネタリーヘルス（Planetary Health）」という言葉があります。文字通り訳せば「惑星の健康」ですが、この惑星とは私たちの暮らす、かけがえのない地球です。したがって、これは「地球の健康」の意味になります。

みなさまが毎日の生活のなかで「地球の健康」にまで思いを巡らすことはほとんどないかと思いますが、本日は違います。

このシンポジウムでは、みなさまと一緒に、私たちの well-being が想像以上に地球の健康と密接にかかわっていること、しかも、私たち人間の経済社会活動や技術革新の急速な拡大や進展が地球環境と生態系と私たちの well-being とのバランスに重大な影響を及ぼしていることに目を向け、実感していただきます。その上で、私たちの想像力とイノベーションと実践行動を結集し、地球の健康と私たちの well-being が両立する、より持続可能な未来の構築のための「次なるステップ」の具体的なアイデアや取組を議論します。

地球のキャパシティには限界がありますが、私たちの知的な活動にはバウンダリーもリミットもありません。文理の融合、産官学の共創、そして夢と現実の交錯を通じ、不可能と考えられていることや、逆に常識として受け入れられていることさえもひっくり返すような発想や視点も含め、あらゆる角度からの議論を期待しています。

## 基調講演

プラネタリーヘルス実現に向けて

—Sustainability Science と社会の連帯により、地球の未来のために今できること

春日 文子

長崎大学 教授

Future Earth 国際事務局 日本ハブ事務局長



## 講演

MA-T が可能にする “well-being” –世界展開と課題–

井上 豪

大阪大学大学院薬学研究科 教授



地域からグローバルへ：健康と Wellbeing の実現のために

山本 尚子

国際医療福祉大学 大学院 教授

(前) 世界保健機関 (WHO) 事務局長補



PMDA の国際展開

藤原 康弘

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 理事長



リジェネラティブな未来を創造するために私たちは今何をすべきか

金森 サヤ子

大阪大学 全学教育推進機構 教授



WAKAZO: 健康な地球を目指す若者達の挑戦

寺本 将行

ノースウェスタン大学医学部 Health & Biomedical Informatics 専攻  
博士課程 学生

inochi 未来プロジェクト 理事



# パネルディスカッション

総括・閉会

お問い合わせ： MA-T 学会事務局    e-mail: [2mat@matsociety.org](mailto:2mat@matsociety.org)    tel: 072-729-4125